



共創による新しい価値の創造
HANNAN
SDGs未来都市

良好な環境を活用した観光モデル事業

森里川海のつながりを観光資源へ

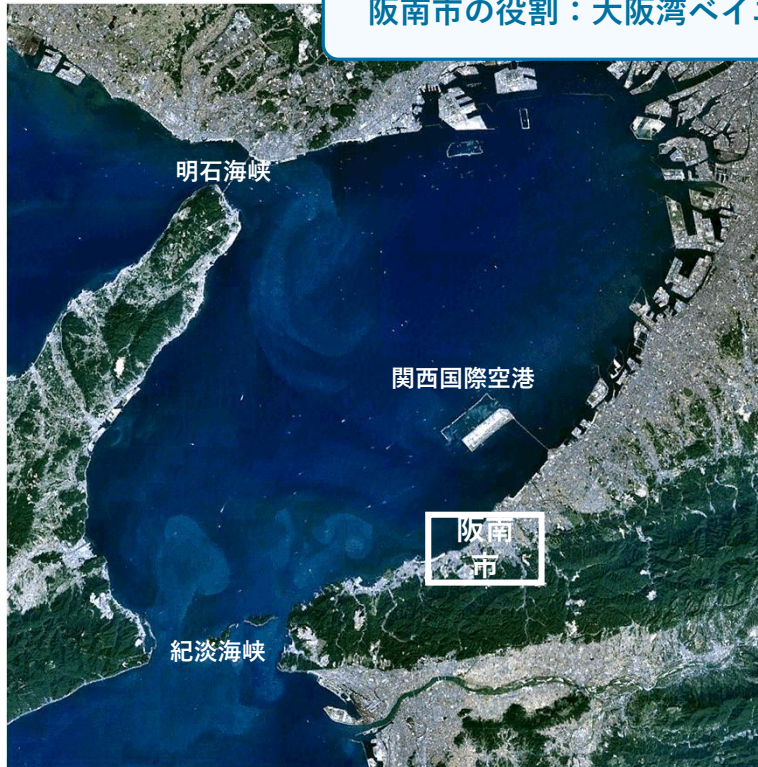
～はんなん森里川海プロジェクト～

「大阪湾ベイエリア南端から、環境価値を高める」

令和8年7月28日

阪南市未来創生部

阪南市の役割：大阪湾ベイエリアの環境価値を、学習・体験・保全へつなぐ



「大阪湾ベイエリア南端の 海と山が出会うまち」

1991(平成3)年 市制施行(大阪府で一番新しい市)

人口 49,065人(令和8年5月末時点)

面積 約36km²(約60%が和泉山脈の山林)

大阪市から約45km

和歌山市から約10km

関西国際空港から約20分



共創による新しい価値の創造
HANNAN
SDGs未来都市

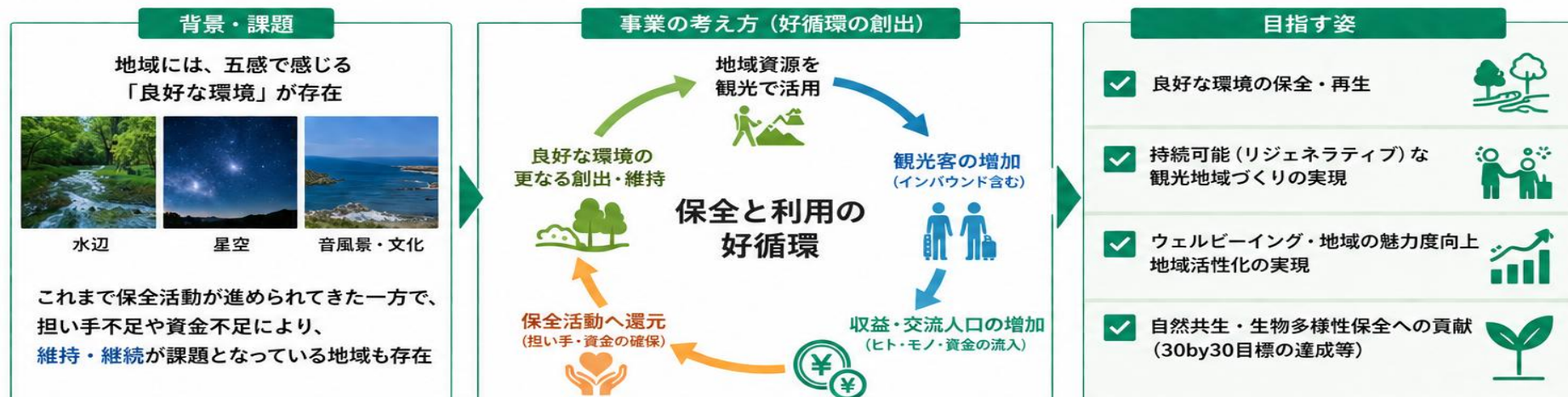


阪南市
イメージキャラクター
はなてい



良好な環境を活用した観光モデル事業とは

「保全」と「観光」をつなぎ、地域の未来をつくるプロジェクト



事業の目的

豊かな水辺、星空、音の風景等、地域特有の自然や文化の保全が行われてきた地域において、インバウンド誘客に資する**自然資本の磨き上げ**とその**利活用**に取り組み、「良好な環境」を活用したインバウンド観光の推進を図ることを目的とした**モデル事業**です。

- ・インバウンドにおいて価値の高い地域資源を活用
- ・保全活動の継続と観光振興の両立を目指す
- ・持続可能な地域の未来づくりに貢献

阪南市の取組

海・里山・歴史文化などの地域資源を活用し、「良好な環境」の保全と観光振興の両立を目指すモデルづくりに取り組んでいます



豊かな環境を守り、活かし、未来へつなぐ

～ 阪南市から持続可能な観光のモデルを発信します ～

実施主体、事業名などの概要

- ・事業名：『海と山が会うまち』はんなん森里川海プロジェクト
- ・実施主体：阪南市
- ・対象とする良好な環境：自然共生サイトである『阪南セブンの海の森』

地域の現状・課題

- 大阪都心圏にありながら、半自然海岸などの良好な環境が残り、市内小学生向けの海洋教育も行っている。体験型コンテンツや特産品など、観光資源の芽はあるものの、観光振興や受入体制は未整備である。

目指すべき姿（中長期ビジョン）

- 観光・経済・環境の循環型ビジョン
「環境を活用した観光振興と経済循環の仕組みづくり」
- 市民参加・世代継承型ビジョン
「市民と次世代が担う持続可能な環境保全コミュニティ」

実施項目（事業内での取組）

- 共通ストーリーの整理・言語化
- 海を主軸としたモニターツアーの実施・検証
- 山に関する成立条件の整理・検証
- 評価指標の設定と見える化

R9：自走化に向けた実装

R8：条件整理・検証

R7：資源を知る

実施項目（事業内での取組）

- 海の現状把握、保全と活用施策
- 山の現状把握と課題整理
- 海と山が会うまちの方向性立案
- コンテンツの磨き上げ・課題整理

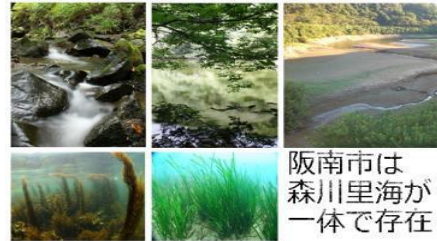
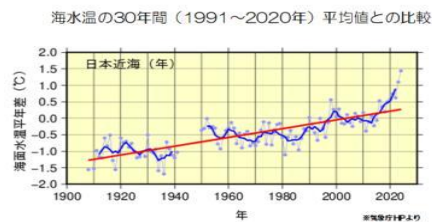
実施項目（自走化）

- 民間主導運営による事業自走化（運営体制・収支モデルの確立）
- 海を核とした環境配慮型ツアーの実装（受入体制整備・コンテンツ磨き上げ含む）

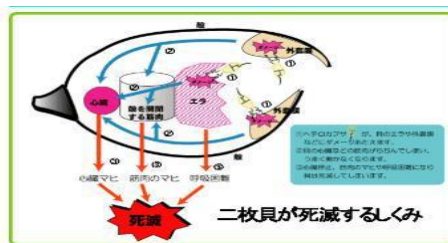
資源を知る（R7年度取組）

海の現状と保全の取組（現状把握）

- 阪南市沿岸域は
 - ・ 森・里・川・海が連続する地形
 - ・ 自然共生サイト（30by30）沿岸域認定第1号
- 海水温上昇等による生態系変化の進行や赤潮被害
- アマモ場の減少と漁場環境への影響
- 年間50～60トンが流入する大阪湾の海洋ごみ



阪南市は
森川里海が
一体で存在



R7年度は「資源を知る」段階として、アマモ場再生など既存の保全活動を起点に、観光利用へつなげる課題を整理。
次年度以降は、環境価値を分かりやすく伝える体験設計と、収益を保全へ戻す仕組みづくりを検証する。

浪花酒造を核としたストーリーの構築（R8年度取組）



**創業享保年間 八代将軍吉宗公の頃
令和七年 浪花酒造「清酒浪花正宗」**

新酒お披露目会

【日時】 令和7年11月29日(土) ※完全入替制・当日参加不可
第1部 10:00～11:45 <募集人員>見学プラン30名 + 特別プラン10名
第2部 12:30～14:15 <募集人員>見学プラン30名 + 特別プラン10名
第3部 15:00～16:45 <募集人員>見学プラン30名 + 特別プラン10名

【場所】 浪花酒造(阪南市尾崎町3-13-6) 南海本線「尾崎」駅より徒歩5分

【参加費用】 ※参加費:20歳以上の方
見学プラン:3,000円(本宅・酒蔵見学・浪花正宗特製5勺酒・お土産券500円分・300ml日本酒)
特別プラン:8,000円(見学プラン・本宅酒蔵見学しながら新酒飲み比べ・阪南いもんおつまみ・福袋)
※阪南の宝(なにわ風牛・波有手力キなど)を使った旨いもんコーナー設置(別途実費)
出店予定:漁師銀座、野菜串焼きバルぼっぱ、浜のおばちゃん家、新興製菓など

【スケジュール】 受付⇒登録文化財見学(本宅(和室・庭・洋室・茶室)、酒蔵(F)⇒新酒鑑別り
⇒自由時間(振る舞い酒、阪南いもん、売店、にてお楽しみください)

【募集開始】 令和7年9月22日(月) 9時より受付を開始します。 ※応募多数の場合は先着順

【お問合せ・申込】
(一社)阪南市観光協会: 電話: 072-447-5547 (平日9:00～17:00)
FAX: 072-447-5547
メール: hannan.kanko@hannan-tb.jp
①参加希望時間 ②プランの種類 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥住所



阪南市の核となるストーリーは「一滴の水の物語」です

- ・和泉山脈の森が雨を蓄え、伏流水となる
- ・300年以上枯れない井戸水が浪花酒造の酒を支える
- ・その水は川を通じて大阪湾へ注ぎ、アマモ場や海の生態系を育む

酒を守ることは、水を守ること
水を守ることは、森を守ること
森を守ることは、海を守ること

- ・この循環を、阪南市ならではの観光価値として発信する。



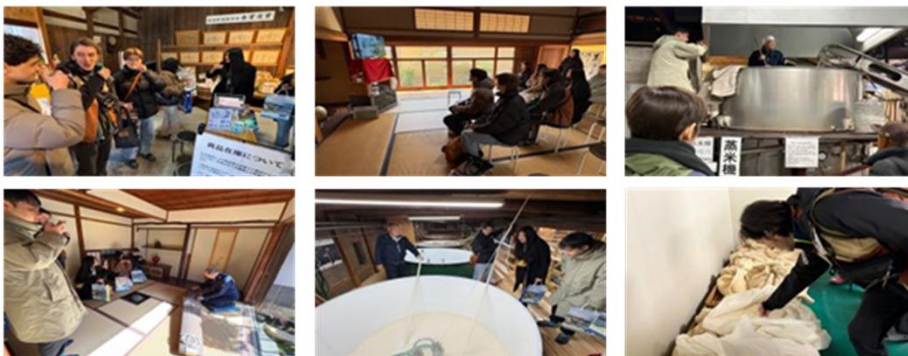
取組内容詳細：モニターツアーの実施（R 7～8 年度取組）

地元産品堪能ツアー

①波有手の牡蠣小屋



②本宅&酒造見学、売店視察



自然農法＋海の体験ツアー

～宿泊型リジェネラティブツーリズム～
環境を学び、地域に還元する再生型観光



参加者の意識にも変化が見られました

□ モニターツアー結果

モニター全体満足度：4.83点（5点中）

● 良い点・悪い点など（気づき）

- ・「自然」と「伝統（手仕事文化）」のバランスが取れている点が魅力。
- ・地元の方々が自分の地元についてニコニコと話していて魅力を知れたし、とても親切でした
- ・あまり環境には興味はなかったが、話を聞いているうちにもっと学んで自分たちでも活動したいと思った
- ・浪花酒造はコンテンツの質が非常に高いため、欧米豪向けプロモーションでは特に強調したい。
- ・海のアクティビティは他エリアとの差別化が難しい可能性がある。
- ・歴史的背景を含むストーリー性（コンテンツ）があると良いと思った。

● あれば良いと思う体験

- ・通年で体験できるプランが欲しい。
- ・英語表記があると、より良い。
- ・浪花酒造での「お茶」体験があると良い。

今後の展開

- 歴史的背景やストーリーの説明の更なる充実
- 「一滴の水の物語」を軸に、海・山・酒蔵・食をつなぐ
- インバウンド対応の強化（英語表記、受入環境・設備の充実）
- 他コンテンツと融合した「阪南市ならではのツアー」の磨き上げ

阪南市には「森・里・川・海」が一つにつながる自然があります。

その自然の循環そのものが、阪南市最大の観光資源です。



森が育てた一滴の水が、酒をつくり、海を育て、人を呼ぶ。